



# 第17回Wリーグ プレーオフ・ファイナル 会見要旨



## JX-ENEOS サンフラワーズ

(レギュラーシーズン1位・10年連続34回目の出場)

### 【佐藤 清美 ヘッドコーチ のコメント】

——最初に、セミファイナルの振り返りをお願いします。

セミファイナルは、2戦で終わられたということはコンディションの面では非常によかったのではないかと考えています。ただ、ゲームの内容については、第1戦の前半はいいディフェンスができましたが第1戦の後半と第2戦はあまり自分たちの満足いくディフェンスができなかったため、その辺りをファイナルに向けて修正していきたいと思っています。また第2戦に関して言えばファーストブレイクが出せなかったため、そこも修正点になると思います。

——相手チームは、リーグ戦では1勝2敗と負け越している富士通となりました。一筋縄ではない手ごわい相手かと思っています。連覇を狙うために必要な条件、というのは何だと思われますか？

レギュラーシーズンとプレーオフではまた違った戦い方になると思うのですが、富士通さんは非常に得点力の高い選手が多いのでそこをどう抑えるかがポイントになると思います。

——相手の富士通で注意したい選手を挙げてください。

誰ということではないのですが、全員が得点力のある選手なので、全員を一桁台におさえるディフェンスをしないと勝てないのかなと思っています。

——ファイナルに向けての意気込みをお願いします。

周りの方々は8連覇を期待してくださっていると思いますが、私たちはとにかく目先の勝利に向かって努力していきたいと思っています。

### 【吉田 亜沙美 選手のコメント】

——最初に、セミファイナルの振り返りをお願いします。

ヘッドコーチが言われたように2戦で終わったのはよかったという気持ちと、課題や修正点もたくさん見つかったため、そこをしっかりと練習で修正していきたいと思っています。

——相手チームは、富士通となりましたが、ポイントガードとして、どのような展開に持ち込みたいとお考えでしょうか。オフェンス面、ディフェンス面それぞれお聞かせください。

JX-ENEOS はアップテンポの展開に持ち込んでいくチームなので、ディフェンスからブレイクという形を40分間どれだけ出すことができるかがキーポイントになると思います。オフェンスというよりはディフェンスで積極的にプレッシャーを掛けてそこからスティールやリバウンドを取って走り込む展開に持ち込みたいと思います。

——相手の富士通で注意したい選手を挙げてください。

特に誰ということではなく、チーム全体として怖いチームだと思っているので、こちらもチーム全体で立ち向かっていきたいと思います。

——ファイナルに向けての意気込みをお願いします。

相手がどこであれ自分たちのバスケットをするということが大事になってくると思いますし、このファイナルでしっかり自分たちのバスケットをして、見てくださっている方々に感動を与えながらバスケットボールファンを増やしていけるように努力したいです。また富士通さんとファイナルで戦えることをうれしく思っていますので、リーグ戦の2敗を返すためにぶっ倒したいと思います。

#### 【渡嘉敷 来夢 選手のコメント】

——8連覇を目指すこのファイナルを戦うにあたって、チームとしてのポイントはどこになると思われますか？

まずはディフェンスからだと思います。セミファイナルで1戦目の前半は本当によかったのですが、特に2戦目は相手の気持ちに押されてしまったところがありました。そういったところはファイナルでは見せてはいけないところだと思うので、そこはしっかり修正したいです。

——では、個人としてはどこにポイントを掲げますか。

まずはディフェンスをしっかりして、ブレイクで走るときには自分が先頭で走る。そして積極的に得点を取りに行きたいと思っています。

——ファイナルに向けての意気込みをお願いします。

昨年と同じカードになりましたが、今年も3戦で終れるように頑張りたいと思います。



# 第17回Wリーグ プレーオフ・ファイナル 会見要旨



## 富士通レッドウェーブ

(レギュラーシーズン2位・2年連続4回目の出場)

### 【BTテプス ヘッドコーチ のコメント】

——最初に、セミファイナルの振り返りをお願いします。

1戦目から3戦目まで試合内容はよくありませんでした。最近はゲームの出だしがよくなく、スロースタート、緊張からか同じ展開になっています。2戦目の奇跡の逆転以外はあまり良いバスケットは出来ていない感じです。しかし、うちにはまだそれだけの逆転をできる力があるということです。ファイナルの相手はJX-ENEOSさんですから、そのパワーは必要になるでしょう。最近シュートが入らず苦しい展開になっていますが、ディフェンスで頑張ってリバウンドを取って・・・という我慢ができるようになったと思います。

——今シーズンのJX-ENEOSにはリーグ戦では勝ち越しているものの、勝った試合はいずれも接戦でした。このファイナルでの戦い方のポイントはどこになると思われますか？

レギュラーシーズンとプレーオフの戦いは全く違いますし、特にJX-ENEOSさんはプレーオフに入ると別の顔を出します。昨年その印象が今でも残っています。JX-ENEOSさんを倒すために自分たちのバスケットをもう一度見直さなければなりません。

——相手のJX-ENEOSで注意したい選手を挙げてください。

ここにいる二人(吉田選手・渡嘉敷選手)です。吉田選手は最初から最後までゲームコントロールが良く、渡嘉敷選手は最近特にアウトサイドのシュートがよくなって、インサイド・アウトサイドとどこからでも得点が取れるので、一人で守ることは難しいでしょう。チームディフェンスでこの二人を守りたいと思います。

——ご自身のチームで期待している選手を挙げていただけますか。

ここにいる二人(町田選手・長岡選手)です。町田が町田らしいバスケットをしなければ富士通の勝つチャンスは低くなります。長岡は今シーズンからインサイド・アウトサイドでバランスよくプレーできるようになったので、昨年のようにアウトサイド(3ポイント)に頼らずに、ペイントエリアと両方を頑張ってくれれば勝機はあると思います。

### 【町田 瑠唯 選手のコメント】

——最初に、セミファイナルの振り返りをお願いします。

セミファイナルはどの試合も本当に苦しかったのですが、勝ちきれたことは良かったと思います。しかしまだまだ課題は多いので、ファイナルに向けて修正していきたいと思います。

——ファイナルの対戦はJX-ENEOSとなりました。ポイントガードとしてどのようにゲームを組み立てたいと思っていますか。オフェンス面、ディフェンス面それぞれお聞かせください。

自分たちはプレッシャーディフェンスからブレイクを出すことが持ち味ですし、ハーフコートではボールも人もしっかり動かしてバランスよく得点することが大事だと思います。自分たちの課題であるリバウンドをしっかり取りきることも意識したいです。

——相手のJX-ENEOSで注意したい選手を挙げてください。

インサイドの選手の得点が多いので、やはりそこを全員で守りたいと思います。

——ファイナルに向けての意気込みをお願いします。

昨年のファイナルでは3連敗で悔しい思いをしているので、リベンジできるようにしっかり頑張りたいと思います。

#### 【長岡 萌映子 選手のコメント】

——ファイナルの対戦はJX-ENEOSとなりました。チームとしてやらなければならないこと、逆にJX-ENEOSにやられてはいけないことは何でしょうか。

セミファイナルであのような試合展開になってしまったのですが、私たちはプレッシャーディフェンスからのブレイクやボールを動かすこと、人が動くことでいいリズムのバスケットができると思います。そして、JX-ENEOSさんはインサイド陣の得点が非常に多いので、そこをチームでディフェンスしなければならないと思っています。

——ファイナルを勝ち抜くためにご自身が果たさなければならない役割を教えてください。

オフェンスではヘッドコーチが言われたようにペイントエリアでの得点、アウトサイドばかりにならないようにということと、ディフェンスではどれだけ体を張れるかということだと思います。

——ファイナルに向けての意気込みをお願いします。

昨年はストレートで負けて自分たちのバスケットができずに終わってしまったので、今年は最初から自分たちのバスケットができるように、少しでもいい勝負ができるように頑張りたいと思います。